

●世帯数 646世帯
●人口 1,993人
男 978人
女 1,015人
(9月末現在)

広報

東野尻

発行 | 東野尻公民館
hnj-net5@p2.tst.ne.jp

令和元年

10.25

第148号

令和元年度テーマ

あいさつが 人と人との和をつなぐ

ビールも進み、会話も弾む(東野尻公民館前)
暑い夏の夜、ビールを片手に会話も弾んでいます。

題字 故片岡清一氏
(当地区出身の元郵政大臣)

2019年 東野尻夏まつり



盆おどり参加の中学生たち



おいしいよ～



綿飴おいしいね



ねらいを定めて



暑さも忘れて踊ります



迫力満点！越中いさみ太鼓



櫓の踊りを見ながら



外国からも参加



だんだんクライマックスへ

2019年東野尻夏まつりが、8月10日(土)に盛大に行われました。この日
 で3回の打ち合わせを行い、当日を迎えました。たくさんの方の屋台があり、始
 りと同時に賑わっていました。今年は、たくさんの方の参加があり、「昨年
 の3倍くらいの人だ」という声もよく聞かれました。また、中学生など子供た
 ちの姿もたくさん見られ、年々増え続けています。今回、ベルギーからの3名
 の交換留学生も参加してくれて国際色豊かな祭りになりました。
 なお、翌日の午前7時から中学生がごみ拾いをしてくれるなど最後まで活躍
 してくれました。実行委員の皆さんお疲れさまでした。

(高田 法仁)

東野尻婦人会の今後について

今年度の砺波市連合婦人会は、市内21地区のうち5地区での活動となりました。東野尻婦人会は、これまで『女性の教育と地位向上を図り、併せて地域社会の進展のために貢献すると共に会員の親睦をはかること』を目的として、地区内での様々な事業に取り組みとともに連合婦人会の活動にも参加してきました。しかし近年、連合婦人会の組織活動と地区婦人会の活動意識との間に距離感が生まれてきたことから、今年度をもって砺波市連合婦人会を退会することといたしております。

また、東野尻婦人会は、昭和21年に結成されてから今日まで73年間脈々とその意志が引き継がれてきましたが、女性をとりまく環境や婦人会活動に対する会員意識の変化もあり、近年は執行部役員のなり手探しに労を費やし、地区や常会内の婦人会活動も停滞しているのが現状です。そこで、連合婦人会の退会を契機に地区内の女性の活動体制も見直す時期がきているのではないかと考え、各常会内の婦人会活動の状況、今後の会員増減の見込みや婦人会事業への意見や要望の聞き取りを行い、今後の活動の在り方について検討を重ねてきました。

その結果、今後は地区内では婦人会のような女性の会を組織せず、女性も地区住民の一員として、常会を通して地区の行事や事業に関わっていくという方向で自治振興会に相談させていただきました。

地域の活動は地域住民全員で！

自治振興会からは、常会に女性の委員を新たに加え、女性の意見も反映させていくとの提案を頂き、より多くの女性が参入し易い体制をと協議を重ねていくところです。

自分達が生活する地域のことを住民の皆で考えることにより、地域組織の最も基礎である常会での活動が地域の男女共同参画を進め、ひいては地域の活性化に繋がっていくことを期待し、地区の皆様にもご理解とご協力をお願い致します。

(東野尻婦人会会長 松本 順子)



第5回高齢者学級

全国一斉社会奉仕の日

9月20日(金)午前6時より農村公園の除草作業を緑寿会メンバー70余人で行いました。早い人は5時半前に集まっておられました。

当日、市役所で交通安全運動市民集会も開かれ、役員3名がそちらに出向かなければならず、記念写真は6時半に撮ることになってしまいました。

天候は、翌々日から雨の予報で心配はありませんでした。参加されている方は、毎年参加されており、感謝にたえません。ただ毎年参加されているのに、今年は見えなかった方が5、6人おられ、何かあったのではないかと心配されていた方もいらっしゃいました。

雑草の量も去年の2倍くらいあり皆さんのご健闘のあとが分かりました。ご苦勞様でした。

来年以降も続きますので、今後ともご協力いただきますようお願いいたします。ありがとうございます。ごさいます。



朝早くから黙々と



苗加苑での花苗栽培

苗加苑の景観形成 農地・水・環境保全管理協定委員会

東野尻地域農地・水・環境保全管理協定委員会では、事業実施当初から、草刈り作業、水路の江浸り作業、畦畔の再構築作業、景観形成作業の4つの作業を柱として事業の展開を進めてきました。

景観形成作業につきましては、各常会において道水路法面への芝桜等の植栽や、プランターでの花栽培管理作業等を行ってきました。

国・県からの指導により今年度からは、福祉施設との連携を進めるよう依頼がありました。そこで、社会福祉施設苗加苑で景観形成に係る事業を実施することになりました。

今年度は、苗加苑の玄関口と、隣接する南部デイサービスセンターの玄関口に、花苗を植栽したプランター設置し、来館者に安らぎを与えらるとともに、施設の景観形成に努めています。

(五島 親秀)

この人

越中いさみ太鼓保存会 高木 民雄さん(中之島)

略歴

リレー紹介

今回ご紹介する方は、高木民雄さんです。46年間川田工業にお勤めになり、2年前から関連企業にお勤めされています。川田工業の時代にベトナムのハノイに2年間海外赴任し橋や火力発電所をつくられたそうです。

保存会について

保存会としては、昭和27年に村の有志でこの太鼓を復活させました。そして、昭和29年に太鼓の保存会として富山県で最初に結成されました。また、同時に少年部も結成され、現在もジュニアチームとして多くの子供たちが市内および近隣の市町村から集まって練習しています。ジュニアチームが3チームあり、約26名が在籍し、大人のチームと練習をしています。

ジュニアチームについて

全国大会にジュニアチームは、16回出場するくらい有名なチームです。子供たちには、太鼓だけではなく、靴を揃え、きちんと挨拶することなどの指導もされています。高木さんは、「ジュニアがあるおかげで、いさみ太鼓の活動がしっかりできています。」とお話されます。

後世に伝えていくためには

高木さんのエネルギーの元は、「太鼓が好きである。」「太鼓を傳承させていく。」そして、今後の活動の原点として「受け継いできた事をしっかりと保存していく。いかに後世に繋げていくかを考える。それには、次の練習日が欠かせない。それが傳承していく源である。」



いさみ太鼓を愛し、後世に伝えていくことに情熱をかけておられる方だと強く感じました。

(福井 智二)



ご存知ですか、東野尻地区にも人気力士が！令和初めて103年ぶりに富山県出身の優勝力士が生まれました。朝乃山英樹関です。今回は地元の力士碑について調べてみました。中には門弟のいる力士もいたようです。(むらの歩みより) 東野尻地区にも人気相撲力士碑がたくさんあることに驚きました。左記の上碑四股名①(越の雪太平) 場所萬福寺南西方、明治3年10月に建てられた下碑②(越ノ雪栄助) 場所九本杉史跡内・明治26年6月建立さらに③(春風忠右衛門) 場所・西島上高木樹宅南方・昭和7年11月建立④(花見山八兵衛) 場所・浦之島故水木政雄方東方・文久元年建立⑤(紅葉山喜太郎) 場所・浦之島故水木政雄方東方・明治年間建立⑥(宮津文吉) 九本杉 榮藏三昧共同墓地西・明治13年8月建立⑦(鶴ヶ濱亀次郎) 場所・九本杉史跡内・大正3年4月建立⑧(才川条次郎) 場所・原道島・苗加西部共同墓地内明治26年11月建立⑨(立田野吉右衛門) 場所・西島上高木幸子宅北方・明治14年8月建立。どの碑も強い力士たちの名を後世にと、その村の若連中たちが世話人となり碑を建てたとあります。圃場整備、道路が変わるにつれて移動していますが、現在、どの碑も大切に地域の方々関係者様で大切に守られています。一度地区内ゆつくり碑を見ながら散策するのもいいかもしれませんね。(南部 武美)



越の雪太平碑 萬福寺南西方



越ノ雪栄助碑 九本杉史跡内

地区グラウンドゴルフ大会

第19回グラウンドゴルフ大会が、8月25日(日)に東野尻地区グラウンドで行われました。当日朝は涼しかったものの徐々に日差しが強くなり、暑い日になりました。

今回はグラウンドの状態が良く、ホールインワンやナイスショットも多く見られました。選手の皆さんは楽しくプレーされ、親睦を深められました。

成績

- 団体男子 優勝 青 次勝 黄
- 団体女子 優勝 赤 次勝 桃
- 個人男子 優勝 増宮 正
- 次勝 下田 信雄
- 個人女子 優勝 高木 玉江
- 次勝 餅田 志美子



ねらいを定めて

自主防災訓練

9月29日(日)、9時2分に砺波市防災本部より、防災無線で川辺寛会長に避難指示が伝えられ、避難訓練が始まりました。

情報伝達は正確に、速やかに！

会長は、全住民の安否確認と一時避難場所への避難開始を電話で指示。特に、避難行動要支援者への連絡



真剣な表情の訓練

は細心の注意が払われました。連絡に問題があったのか、東野尻公民館前への集合には時間がかかった常会もありました。

いろいろな防災訓練を体験

参加者には初期消火訓練や煙中体験、非常食試食体験などの貴重な体験をされ、熱心に取り組んでいたいただきました。ただ、集合後すぐに活動できるように運営の工夫が必要だと思われました。

発電機による夜間照明灯の点灯

9月5日(木)、新日本建機(原道)と「災害時における発電機の借用に関する協定」が締結され、テストも行われました。今後、ますます非常時の企業との協力が必要になってくると思います。

(野村 幹夫)

郷土の民話 紙芝居に

8月6日から9日にかけて、東野尻公民館において郷土の民話「九本杉」

「白いへび」の紙芝居作りに取り組みました。砺波南部小学校の5年、6年の子供たち8人が砺波市東保在住の絵本作家

吉水友香さんの指導で下絵描きを行いました。「九本杉」は、尼僧の遺言に従って植えた杉が、予言通り9本に分かれ、尼僧が極楽往生したことが分かったという物語です。

「白いへび」は夢に現れた老人のお告げで、白いへびが巻き付いた石を神社にまつると、桑林が開拓され、水田になったというお話です。

5日には、子供たちは、暑い中、民話と関係の深い九本杉の切り株や桑の神社を見学してイメージを膨らませていました。吉水さんには、絵の構図や彩色の仕方などの指導を受けました。イメージが

わきにくい極楽や地獄の世界については、立山曼荼羅の絵を参考にするなど、一つ一つ調べたり、アイデアを出し合ったりして描き上げていました。

完成した紙芝居は、11月の公民館祭り

で発表します。

(高田 法仁)



館長の説明を聞いて



一筆ずつ集中して



いよいよ色付け作業

東野尻地区福祉プランを 考える懇談会の開催

7月26日(金)、地区福祉推進協議会では、地区福祉活性化のための現状や課題と取り組みについて話し合いました。参加者は48名。民生児童委員、福祉サポーター、自治振興会役員、緑寿会、PTA、ボランティア活動者など多分野の方々と市社会福祉協議会、市社会福祉課担当者です。

高齢者の交流や支援、子供たちの見守り、活動の担い手の固定化や不足が課題として挙げられ、対策として挨拶や声かけ・見守り、関係者の連絡体制、行事の見直しなどについて活発な意見が交わされました。貴重なご意見は今後の地区福祉プラン作成に反映させる予定です。

(高田加壽代)



真剣な議論

同好会 紹介

グラウンドゴルフ同好会



自然体が一番!



同好会メンバーの皆さん



ホールイン

今回はグラウンドゴルフ同好会を紹介します。

同会は代表者の齊藤栄三さん(浦之島)ら23名で活動されています。活動は、毎週水曜日(時間は午前8時30分~10時)、土曜日(午後1時~3時)の週2回、東野尻グラウンドで行ってられます。

グラウンドゴルフは、専用のクラブ、ボールポスト、スタートマットを使って、ゴルフと同じようにボールをクラブで打ち、ホールポストにボールを入れるまでの打数を数えるスポーツです。ルールも難しくはなく、誰でも手軽に楽しめる人気があります。

練習は、8ホールを2回行う試合形式で行っています。「欲があるとうまくいかない。自然体で臨むのが一番」と、皆さん和気あいあいと取り組んでおられます。親睦とコミュニケーションが基盤の同好会です。

大会数は多く、五鹿屋地区との交流大会、市体、県大会など年間20回弱はあるようです。個人では、優勝経験者もおられ、活躍されています。今後の目標としては、老若男女を問わず会員数を増やしたいとのことでした。興味のある方は練習日に一度参加してみませんか。用具は一切いらなそうです。

(高田 法仁)

表彰

◆県エイジレス社会活動推進協議会顕彰
河合 敬二(西島上)

行事予定

- ★10月27日(日) 配食サービス
- ★11月2日(土)、3日(日) 婦人会資源回収
- ★11月3日(日) 公民館まつり
- 時刻 午前9時~午後3時
- 場所 東野尻公民館 農村公園
- 作品展
- 子ども園児、小学生、婦人会、緑寿会 芸能発表
- 小学生「九本杉」「白いへび」紙芝居、3B体操、詩吟、ステップ21、大正琴、謡曲
- 鉄道写真
- 春の東野尻駅フェスタ
- 体験コーナー
- 百歳体操、ベタンク、消防車、ガラス絵
- 模擬店
- 農産物、コーヒー、大鍋汁、おにぎり



じゃんけんで豪華景品

- ★11月17日(日) となみ縦断マラソン 粗大ごみ
- ★12月6日(金) 高齢者学級閉校式
- ★12月11日(水)~20日(金) 年末交通安全運動
- ★12月15日(水) 男性料理講習会